

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわりとよた		
○保護者評価実施期間	令和6年12月6日	～	令和7年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和6年12月6日	～	令和7年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを充分理解し、ニーズや課題が分析されたうえで支援計画が作成され、また、計画に沿った支援を行っている。	こども一人ひとりの姿について日頃から職員間で情報共有し、計画作成会議は出来る限り常勤職員全員で話し合いを行っている。また、作成した計画書はスタッフ全員が確認できるよう展開している。	支援内容を充実させるため、こども一人ひとりに担当職員を決め、より深く、子どもの特性や現状の把握に努めていく。
2	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている。送迎時にその日の様子を伝え、保護者からも情報を頂くことによって、こどもの健康や発達状況について共通理解ができています。	情報伝達の際には、伝わりやすい方法であるか、内容が正確に伝わるかに注意しながら行っている。送迎時には事業所での様子をお伝えし、ご家庭や学校、他の事業所での状況なども出来る範囲でお聞きしている。	新たに得た情報を事業所へ伝達するだけでなく記録して残し、今後の支援に役立てていく。
3	こどもが安心感を持って過ごすことができ、通所を楽しみにしてくれている。	事業所が、一人ひとりにとって過ごしやすい場所になるよう、考え、行動するようこどもたちに声掛けしている。職員は、こどものありのままの姿を受けとめ、尊重していくよう行動している。	より良い支援を行っていくため、職員の研修や資質向上に努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が持っていない。	近隣の地域へ出かける活動があまり出来ておらず、地域の方からの事業所に対する認識も薄い。	活動の中に、地域の中へ出かけたり、行事に参加する等の計画を取り入れていく。
2	ご家族に対する支援プログラムの実施や父母の会の活動への支援、保護者会等の開催等が出来ていないなど、家族への支援が不十分である。	ご家族参加型行事の実施回数が少なく、参加できる方が限られてしまっているため、ご家族同士の交流がほとんど出来ていない。	事業所の行事として、ご家族が参加しやすい形の支援プログラム等を考え、計画していく。また、こどもとご家族と一緒に楽しめる活動の実施回数を増やしていく。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等のご家族への周知・説明が不十分である。また、非常災害時の訓練実施に関する周知が不十分である。	マニュアルの策定や訓練の実施に関する保護者への周知方法が、ブログのみになっている。	マニュアルについては支援計画の説明を行う際にお知らせしていく。訓練等については、ブログだけでなく、他のツールを使って実施報告などを行っていく。